

平成28年度 「大阪市中学校3年生統一テスト」における 南港北中学校の結果の分析について

大阪市による「大阪市中学校3年生統一テスト」について、平成28年10月6日（木）に、第3学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

1 テストの目的

- (1) テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成29年度大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

2 テストの対象

- ・ 原則として、大阪市立中学校の第3学年
- ・ 南港北中学校では、第3学年90名

3 テストの内容

- ・ 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科

平成28年度「大阪市中学校3年生統一テスト」検証シート

実施日 平成28年10月6日(木)

学校名	南港北中学校
生徒数(人)	90

平均正答率（点）

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	66.1	54.4	57.0	48.2	61.1
大阪市	65.4	54.4	56.0	55.0	61.2

結果の概要

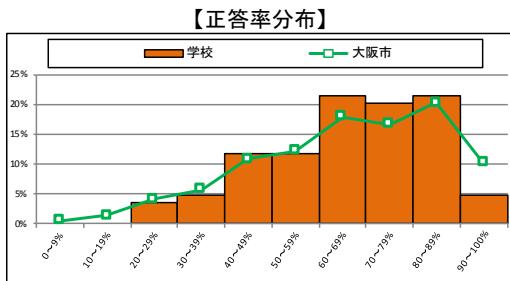
平均正答率は、国語・社会・数学・英語の4教科で大阪市平均を上回るかほぼ同じであったが、理科では6.8ポイント下回った。学力の分布では、最下位層は少ないものの最上位層も少ない。領域・観点・問題別の分布をみると理科以外の4教科は大阪市とほぼ同じで「記述」に課題がある。理科は、分布の傾向は大阪市とほぼ同じであるが、すべての項目で大阪市を下回っている。

成果と今後取り組むべき課題

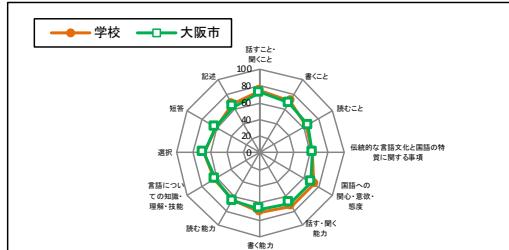
理科以外の4教科ではおおむね良好な結果であり、今後とも基礎的事項の定着の徹底とともに発展的な内容の学習にも取り組み、中間層・上位層を伸ばす取り組みが必要である。理科に関しては、全国学力・学習状況調査やチャレンジテストでも同じ傾向が見られており、全面的な指導方法の見直しを行うとともに、小学校とも連携し理科に対する興味・関心を高める必要がある。

【各教科の正答率分布と領域・観点・問題形式別平均正答率の分布】

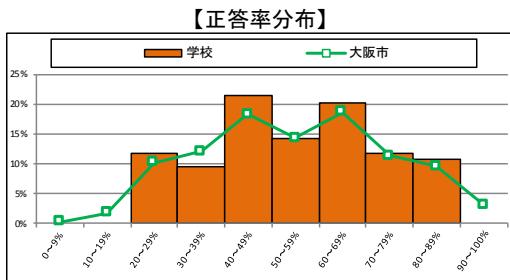
【国語】



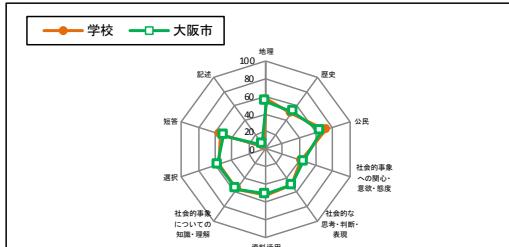
【領域・観点・問題別の分布】



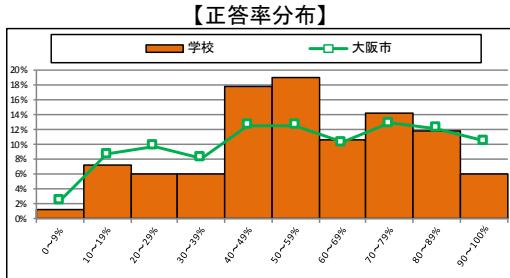
【社会】



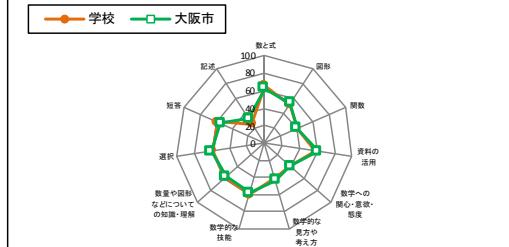
【領域・観点・問題別の分布】



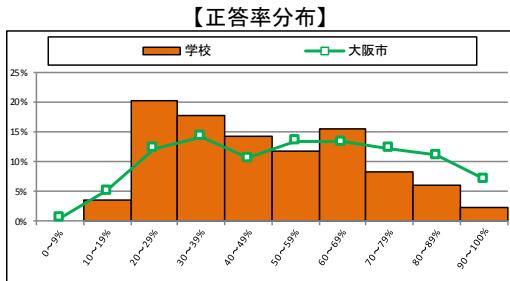
【数学】



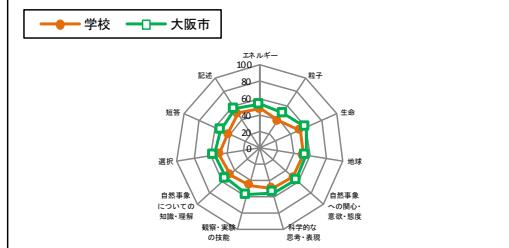
【領域・観点・問題別の分布】



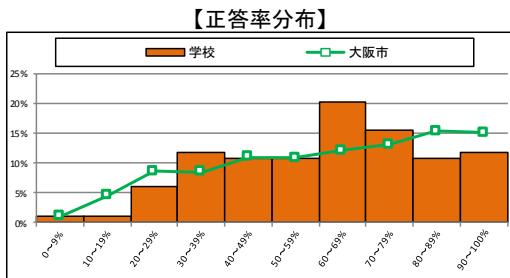
【理科】



【領域・観点・問題別の分布】



【英語】



【領域・観点・問題別の分布】

